

令和7年度 南大沢スマートシティ協議会（第1回）

議事要旨

■日時：令和7年6月30日（月）14時40分 ～ 16時10分

■開催場所：パオレビル7階 / オンライン会議（Zoom）

■出席者（オンライン含む）：座長1名、委員・関係者38名、アドバイザー2名、事務局

□主な議事（●説明、○説明に対する意見・回答）

<委員紹介>

- 事務局から、今年度協議会委員の紹介があった。

<令和6年度の振り返り>

- 事務局から、令和6年度南大沢スマートシティ活動の報告があった。

<今年度の進め方について>

- 事務局から、今年度のスケジュールについて説明があった。

<地域情報アプリについて>

- 東京都から、地域情報アプリ（仮称）実装プロジェクト実施要綱（案）（以下「実施要綱」という。）等について説明があった。
- 協議会として、実施要綱について案のとおり決定した。
- 東京都及び事務局から、地域情報アプリ実施計画（案）（以下「実施計画」という。）等について説明があった。
 - 委員から、アプリにおけるデータの活用、リアルタイムな情報発信ができる機能の引き続きの検討と、それに併せてリリースに向けた地域に対するPR方法を事前に検討しておくことが望ましいとの意見があった。
 - 委員から、人やリソースなどのマッチング機能を備えるのが望ましいとの意見があった。
- 協議会として、実施計画について案のとおり決定した。

<モビリティの取組について>

- 東京都から、自動配送ロボットの屋外配送が南大沢エリアで開始されたことについて、事業の概要、都のプレスリリースなどの説明があった。
- 東京都から、昨年度のUPGRADE with TOKYO 第45回受賞者であるLOMBY社とWHILL社が、今年度、南大沢エリアで実証事業を実施していくことについて説

明があった。

- 2社が行う実証事業について、協議会として後押しすることを確認した。

- WHILL 社から、南大沢エリアで予定している実証事業の概要について説明があった。
 - 委員から、アプリでの予約はシニア層では難しいのでは、との意見があった。
 - この意見に対し、WHILL 社から、家族や近隣の方に代理で予約してもらうことを想定しているが、アナログな貸出方法を併用することも考えられると回答があった。
 - 委員から、検証ポイントを絞って実証するのが効果的だ、という意見があった。

以 上